



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第97号

令和5年4月19日

河津町議会だより

12月

令和5年

3月

9月

6月

定例会は年4回



町のしごとピットアツク..... 2～3
 予算審査特別委員会..... 4～5
 定例会・臨時会..... 6
 一般質問..... 7～13
 常任委員会の活動・議会のうごき..... 14
 議会改革特別委員会..... 15
 一部事務組合..... 17
 私の一言・編集後記..... 18

3小学校閉校式



河津町議会
WEBサイト

令和5年度 一般会計予算

町のしごととピックアップ

同報無線デジタル化事業 (防災情報伝達システム整備事業)

アナログ方式の同報無線を、令和5年～7年の3年間でデジタル化し、難聴箇所の解消や防災メールと連携した情報の早期周知に取り組む。

*各年度の事業費

令和5年度：2億4330万円

令和6年度：2億9000万円

令和7年度：2億7330万円

- スピーカーの発着しによる難聴エリアの縮減
- 一斉配信機能による情報提供（情報伝達の正確性）
放送した内容や気象情報等を随時に防災メール・町中・防災アプリにて配信可能

令和4年度 まちづくり事業説明会資料から抜粋

新規 予算額2億4330万円

町政65周年記念事業 姉妹都市提携40周年事業



新規 予算額170万円

高校生通学費補助事業

町内に居住する高校生が通学に利用する伊豆急行線の学期定期購入に要する費用の1/2相当額について補助。



新規 予算額550万円

中学校施設修繕事業

安全で快適な学校生活を送るため、老朽化した中学校体育館の屋根軒先や渡り廊下、グラウンドの補修・修繕を行う。



新規 予算額6775万円

観光振興事業

観光客の足として期待されるEバイク事業の普及・促進に引き続き取り組み、今年度新規に開催される河津町トレイルレースの運営に携わり、新たな観光資源の発掘を行う。(Eバイク：150万円、トレイルレース：150万円)



新規 予算額300万円

防災拠点施設整備事業

見高地域の避難施設として、消防団蔵置場を併設した防災拠点施設を長野地区に新設。



新規 予算額3億1340万円

橋梁長寿命化事業

町民の皆さまの便利で快適な生活に必要な橋梁の補修工事を実施。

- ・対象の橋梁
奥原1号線（無名橋1）
谷津浜線（鶯橋）



新規 予算額1億2404万円

地域活性化企業人事業

令和5年度から企業と協力して「地域活性化企業人」を採用し、SNS活用やデジタル化・IT化に取り組む。

自治体

- 民間のスペシャリスト人材を活用した地域の課題解決へのニーズ
- ⇒ 民間企業において培った専門知識・業務経験・人脈・ノウハウを活用
- ⇒ 外部の視点・民間の経営感覚・スピード感覚を得ながら取組を展開



(協定締結)

民間企業

- 社会貢献マインド
人材の育成・キャリアアップなど
- ⇒ 民間企業の新しい形の社会貢献
- ⇒ 多彩な経験を積ませることによる人材育成・キャリアアップ
- ⇒ 経験豊富なシニア人材の新たなライフステージを発見

総務省資料から抜粋

新規 予算額560万円

令和5年度 予算審査特別委員会

令和5年度の各課の予算案を集中審議するため、全議員10名で予算審査特別委員会を設置した。3月9日から3月16日までの延べ42時間で311件の活発な質疑を展開し審議した。また、会期中に3件の現地調査も実施。2件の付帯意見を付し、予算原案を可決した。

委員長 大川良樹 副委員長 渡邊昌昭
委員 正木誠司、北島正男、桑原 猛、遠藤嘉規、上村和正、渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

総務課

質問 閉校2小学校の維持管理費は、避難所として使用の為か。

答え グラウンドは貸出すための整備、避難所として使用と老朽化防止で、電気、水道、浄化槽点検清掃、受電設備管理、火災保険など。

質問 特別交付税2億8000万の内容は。

答え 病院関連で一般病床と救急の公的病院の負担。

質問 観光事業の新規2件の概要説明を。

答え Eバイクの維持管理やコースの設定、レンタル事業の補助が主。ト

質問 農業振興の予算減と農業施設費の増は何か。

答え 活動内容と要求によるもので、減額ではない。施設費は、農道整備と農村整備事業の調査費用。

答え 一番の目的は、家庭の経済的支援であり、町と総合教育会議にて取りまとめた。

健康増進課

質問 昨年度当町の出生数は20人。出生向上策の考えは。

答え 伴走型で出産子育て環境を作り高いサービ

質問 公的病院補助の内容は。

答え 一般病床74床分と救急病床分。町は全体の20%を負担する。

福祉介護課

質問 就学支援金の予算が少ないが足りるのか。

答え 小学校入学時に3万円の支給。対象人数減による予算の減額。

質問 高齢者保健福祉計画の内容と委託先は。

答え 次なる第10次の計画で介護給付適正化計画に関連する重要な計画で、委託先は入札予定。

報紙を主にホームページも活用している。プレミアム工事券実施の場合、集中的に周知したい。

産業振興課

質問 修繕費が各項にあるが、主なものは何か。

答え 泉奥原の榎木橋と、谷津漁協の施設及びトイレ、看板、遊歩道、踊り子温泉会館等の維持管理の修繕費。

教育委員会

質問 町史編纂の進捗は。

答え 古代中世のデータや委員が集めた資料が多く、あと2年で製本へ努力。

質問 高校生の通学費補助の公平性を保つべき。

答え 高校生の通学費補助の公平性を保つべき。

町民生活課

質問 浄化槽設置予算内容と設置替え促進の啓発活動は。

答え 予算は6基分で広

答え 予算は6基分で広

水道温泉課

質問 資材購入額の増加の理由は何か。

答え 大堰浄水場の水源予備ポンプを購入するため。

質問 給水、配水、原水、浄水費の増額は何か。

答え 光熱水費と電気動力費が大部分で、資材の高騰と修繕人件費の増加を見込んだ。

企画調整課

質問 太陽光システムの補助金の減額分を、発電機、蓄電池の補助に振り分けられないか。

答え 防災関連と併せて今後の検討課題。

質問 ふるさと納税歳入予算1億5000万円の用途と内訳は。

答え 予算は前年より

アップさせた。寄附額の内3割が返礼品で手数料、人件費など差し引き5割が町の収入になる。返礼品の魅力アップを図っていく。

建設課

質問 積算システム購入は、リースより効率的か。

答え 現リースはメンテナンス、保守手数料など高騰してきているため、将来的に考え購入を決めた。

質問 公共施設整備推進

による旧小学校の整備についてどう思うか。

答え 第一は、どう利用するかが先決で、それにより進道路路改修が必要となれば、利用目的など県に相談する。

防災課

質問 防災情報システム整備工事は、大きな予算だが、内容説明を。

答え 町が運用している同報無線をアナログからデジタルに更新工事を行い、聞こえにくい地区の減少や、聞こえやすさの向上を図る。

質問 長野地区に作る防災拠点への進上路拡幅は。

答え 今回の整備は、建物の建設のみ。進上路は今後色々な声をいただいて確認していく。

現地調査

「河津桜まつり」あとに、ごみ散乱や汚水流出があった現場視察を行った。産業振興課が実行委員会と共有し、出店者へ注意と警告を行うことなど確認した。



▷「景観計画」に関連する「伊豆の踊子」の街並みを視察。

◁長寿命化補修工事が決まった「館橋」にて老朽部分の確認と工法や工期、通行止めなどの予定を視察し確認を行った。



予算審査特別委員会 付帯意見

1. 豊かな財政基盤を確立するため、ふるさと納税の増収を図るとともに、基金の効率的運用など様々な面で検討をされたい。
2. 景観計画の策定に際し、次世代に残すべき文化的な町の宝を消さない対策を強化されたい。

令和5年第1回 河津町議会定例会（抜粋）

令和5年第1回定例会が3月7日から16日までの10日間の日程で開催された。人事案件2件、条例案件13件、単行決議1件、指定管理者の指定2件、規約関係1件、補正予算2件、新年度予算8件、特別委員会設置決議1件が上程され、すべて原案通り同意承認可決された。



岸 重宏 町長

行政報告（抜粋）

●令和5年度予算

令和5年度河津町予算案は、一般会計、特別会計及び企業会計の歳出予算の総額は、71億5544万8千円となり、そのうち一般会計当初予算は47億7200万円、前年度比3億7900万円、8・6%の増となった。

●企画調整課関係事業

令和5年度は、町制65周年を迎え、記念行事として記念式典並びに記念講演を計画する。また白馬村との姉妹都市提携40周年記念イベントも併せて実施する。

地域公共交通について

は小学校統合に伴い、町営バスの逆川から西小学校の路線の廃止。また自主運行バスは、地区から要望があった路線についての増便、時間変更等を行う。今後スクールバスの活用や新モビリティサービスの研究等も検討する。

●防災課関係事業

同報系防災行政無線のデジタル化整備を、令和5年度から令和7年度の3か年計画で進め、スピーカー見直しによる難聴エリアの縮減及び情報伝達手段の強化を図る。

また防災拠点施設として、長野地区に見高地域

住民の防災拠点施設を整備する。この施設は統合する消防団新第1分団の蔵置場を併設する。

●産業振興課関係事業

5月に新たなスポーツイベントとして、トレイルランニング大会「ユールスエナジーカップ 天城アタック35」を開催する。

●旧南中学校跡地活用

2月27日に※プロポーザル選定委員会を開催し、審査結果では、貸付での土地活用を提案した大和リース株式会社と株式会社クリエイトエス・ディーの共同提案が優先交渉権者に決定し、今後は細目に渡る協議を行い、合意後に事業用定期借地権設定契約を締結する。



賑わいの創出を図る旧南中学校跡地

可決された議案（抜粋）

●令和4年度河津町一般会計補正予算

「プレミアム商品券」、「プレミアム工事券」、「小規模事業者おもてなし工事補助事業」

町内経済の活性化を目的に、新年度速やかに執行させるため、交付金の効果的な活用をする。

第1回臨時会

1月31日に役場議場に臨時会が開催された。補正予算1件が上程され、原案通り可決した。

補正予算の主な内容は、伊豆縦貫自動車道河津下田道路Ⅱ期開通イベント委託料等、出産・子育て応援交付金等。

※プロポーザル 企画提案内容を事業者に提出してもらい最適な提案者を選ぶ手法

町政を問う

一般質問



おお かわ よし き 大川良樹 議員

動画にて議会の様子がご覧いただけます



都市計画道路「浜峰線」未整備区間

質問 都市計画道路「浜峰線」に対する町の本気度は

答え 地権者の理解をいただき測量設計から始める

質問 来年度予算で、都市計画道路「浜峰線」について予算計上されたのか。

解を得て測量をし、用地資料作成後に用地交渉に進める段階まで当面は始めたい。県はこれまでの経緯を踏まえ助言や提言等を行うものと考ええる。

質問 今回1330万円という予算付けに対する町の本気度を改めて伺う。

町長 道路新設改良事業として、都市計画道路「浜峰線」測量設計業務委託料1330万円予算計上した。

建設課長 未整備区間約630mの周辺測量面積は、約4万2千㎡を予定し、測量設計業務を行い、県にも相談しながら進めたい。

町長 伊豆縦貫自動車道路のアクセス道路としても、町にとっても将来的な利活用を図る大変重要な道路と認識し、まずは地権者の理解をいただき、測量設計から始めていくというところで予算付けした。

質問 この道路を事業推進するうえで町の役割は、県の役割は。

町長 町は、地権者の理

算出やそれに伴う営農状況や経済効果等を行い、令和5年度も県と協力していく。

質問 田中見高間農道整備を事業推進するためには

答え 令和5年度も県と協力し進めたい

質問 田中見高間農道整備の事業実施の概略と現状は。

町長 伊豆縦貫道の発生土の有効活用やアクセス道路として、また国道135号の迂回路として東伊豆を繋ぐ重要な役割を持つ計画である。

質問 国県へ要望活動は。

産業振興課長 基幹農道見高稲取地区が平成22年に完成した。県としては令和3年度より県単独農業農村整備調査費を計上し地形やルート選定など調査実施をしている。

町長 町として

町長 調査段階で事業化されれば東伊豆とも連携を強め進めたい。

質問 田中見高間農道整備を事業推進していくた

は県と合わせ調査費の一部を負担し、県と共に現地調査を行い、県営中山間地域農業農村事業化の

他1件、「しずおか遺産」制度の観光活用について

町政を問う

一般質問



失われる湯ヶ野共同湯付近の景観



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



みやざき けいじ 議員
宮崎 啓次

質問

今後の児童数から新築校舎は必要ないのでは

答え 児童数学級数の問題など総合的に検討する

質問

新築校舎の建設ス
ケジュールは。その時の
児童数は。

施設計、造成工事、建設
工事の予定。児童は令和
10年度は小学校各1学級、
中学校各2学級、令和13

ニユーアルし、2、3教
室増築でよいのでは。
町長 中学校周辺の安全
な所に、今後の児童数、
学級数を考えた上で、校

教育委員会事務局長 文

立ち上げ、基本構想策定

を令和5、6年度。7年

度以降測量、用地調査、

基本設計、用地買収、実

年度は小、中学校共に1
学級、計9学級の見込み。

土地を求めるか、現在地
か総合的に今回調査の中
で検討する。

質問

中学校は長寿命化
してあり、12教室ある。
新たに建築せず各教室リ

質問

小学校跡地の活用はどの程度進んでいるのか

答え 活用案について担当課で準備をしている

質問

東小跡地の活用には
進入路の整備、西小跡
地の活用には進入路の他
湯坂の整備、財産区源泉
の活用、共同浴場含めた
建物の問題もある。景観
の保全を含め町としてど
のように考えているか。

市場調査を行い委員会と
並行して検討を進める。
伊豆の踊子の舞台として
の町並みや福田家の貴重
な保存資料を生かせば魅
力が深まる。

では。共同浴場含む建物
は10日から取り壊しにな
る。町は景観保全に努力
したのか。
町長 一度区長から相談
を受け、話を聞いただけ。
湯ヶ野地区は川端作品の
舞台として重要と思うが、
生かすのは今後の課題と
思う。跡地は活性化の拠
点になる、進入路の問題
を含め、民間の力も借りな
がら総合的に進める。

町長

進入路等の幅員の
確保の必要性など担当課
で進め方について準備を
している。活用は地域の
意向、*サウンディング型

4年前に小学校統
合の方向性が決まり、そ
の時点から検討がスター
トすれば、現に方向性が
決まり町の活性化に進ん
でいく。今から検討委員
会では活気がなくなるの

※サウンディング型市場調査 民間事業者から広く意見や提案を求めること。

町政を問う

一般質問



くわ はら たけし
桑原 猛 議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



子育て支援の拠点となる「かわぶっこひろば」

質問 子育てのしやすいまちづくりとは

答え 社会全体が子育てに対して理解を深めること

質問 町長の考える子育てのしやすい環境とはどういったものなのか。

インフラ整備、人的サービスや寄り添いなどが考えられる。

福祉介護課長 子育ての

相談内容についても多様化、複雑化、専門化しているため、相談者のニーズに合った的確なアドバイスができるよう研修等

町長 個人も含めて社会全体が子育てに対して理解を深めること、これが一番。お金だけの問題ではなくて子育て中の世代に対して個人や社会がともに育てる助けができる環境をつくれることが大事。そのための制度やイ

質問 子育ての多様化の中で、子育ての不安を取り除くために、幼少期から一貫した支援を、行政だけでなく民間の力も借りることも検討されないか。

民間の研修、視察なども取り入れ、資質の向上に今後も努めていきたい。

が、新たな国の施策に、今後対応していく。

質問 長野地区防災センターの位置づけは

答え 見高地域住民の指定緊急避難場所及び指定避難所

質問 いつか起こる東南海トラフ大地震発生時に見高地区がこの河津地区と分断された場合の拠点になり、サテライトとして町との連携の機能を期待しているが、町としてこの防災センターの位置づけは。

の集会施設と全て同じ位置づけとなっている。

は長野地区は水路がないので重要だが、今のところ考えていない。

質問 電気水道などのライフラインに不安がある。災害時、水や電気の確保はどう考えているのか。

質問 災害時に備えて非常用のペットボトル飲料水を備蓄する予定。停電時は発電機で対応していく。

質問 進入道路拡幅の考えはないか。

防災課長 避難場所及び避難所としての位置づけについては、町内各地区

町長 防火水槽について

町長 現状では拡幅等については特に考えていない。地元区と協力して近隣駐車場などでの対応も考えていきたい。

町政を問う

一般質問



縦貫道オープニングイベントでの河津桜記念植樹



動画にて
議会の様子
がご覧
頂けます



わた なべ まさ あき
渡 邊 昌 昭 議員

質問 移住・定住の促進とUターンの増加に対策は

答え 移住の条件は総合的なまちづくり

質問 静岡県に移住・就業支援制度の活用状況は。

町長 登録企業が少なく、増やす方向で努力したい。

企画調整課長 これまで申請者3件、相談者5件。

質問 周辺からの移住促進対策と子育て支援は。

町長 個人的には、移住の条件は総合的なまちづくり、特に医療、子育て、交通買物環境だと思う。

教育委員会事務局長 来年度から高校生の伊豆急行線の学期定期相当額の2分の1補助を計画している。

質問 この町で育ち、河津の様子を知ったUターン者の支援はできないか。

町長 Uターン者の家業を引き継ぐものの支援は個々の費用負担などの問題もあり、単体の補助制

度としては難しい。

企画調整課長 国の制度で事業継承、引継ぎ、補助金のほか3種類の補助事業がある。事業継承資金の融資等の相談事業もある。相談者には紹介している。

産業振興課長 様々な条件があり、個々のケースに応じて支援の相談を行っている。

質問 河津桜の集中植樹について

答え 計画に基づき植樹を支援する

質問 河津桜まちづくり計画の幹線道路計画の景観形成として伊豆縦貫道の幹線沿いの大鍋・逆川

地内に河津桜を植樹できないか。休耕地等農地への植樹は難しいか。

町長 伊豆縦貫道の道路やIC周辺の植栽を計画している。逆川地内にオープニングイベントの際、記念植樹を計画している。

産業振興課長 切り枝などの商品作物であれば問題はないが、観賞用の植栽となると農地法の手続きが必要となる。

質問 伊豆縦貫道天城越えが開通するまでに回遊場所づくりや、町有地等への集中した植樹をし、

拠点づくりをすすめ「さすが発祥の地」と他所のまつりとの差別化を図る

ことが、必要と思うが、考えは。

町長 今後は植栽場所の確保と草刈りや育成の管理体制の確保が重要で上佐ヶ野地区や沢田地区での拠点づくりも進めている。

産業振興課長 計画的に苗も提供していく。

町政を問う

一般質問



きた じま まさ お 議員
北島正男

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



令和4年度学生アンケート

(賀茂地域の小6・中3・高3の1027人の調査)

質問：あなたは賀茂地域が好きですか？

●各学年ともに、地域への愛着が強く、賀茂地域が好きと答えた小学生は95%、中学生77%、高校生87%となり、特に河津町と松崎町の小学生は100%を記録。賀茂地域が好きな理由は、自然への愛着が多く好環境に身を置いている意識が高くなっています。

質問：15年後あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

(2016年) → (2019年) → (2022年)
はい = 40% はい = 32% はい = 28%
いいえ = 60% いいえ = 68% いいえ = 72%
●調査を開始してから「住んでいたい」が減ってきている。子供たちのUターンを促す政策や試みは必須。同時に出生数の減少を和らげることを考えるのも急務。

賀茂地域住民アンケート調査報告会(令和5年3月10日)
(静岡県賀茂地域局) から引用

質問

今後の町独自のコロナ対策について

答え

今迄も、これから国、県、町のそれぞれの施策に対応していく

質問

5月の国によるコロナ緩和策に対し町独自の予防策と救済措置は。

町長

国や県の施策による対応などが大きく、緊急対応など町は対応してきました。医療面では、町として町内の医師や医療機関に感謝し、これからも連携を強めお願いや協力要請に前向きに取り組んでいただく。

健康増進課長

令和5年度も、国は無償でコロナワクチン接種の実施を決めた。重症化させないためにも実施計画を町民にしっかりと案内していく。

質問

感染者の届け出全数の公表と5類へ引き下げられたときの生活指針の策定などの予定はあるか。

防災課長

全国的に発生届が限定され、感染者数の公表は考えていない。

質問

河津町に戻ってくる人たちを増やすための施策について

答え

地域への愛着が増すことを、もっと施策として進めていく

質問

賀茂地域の学生アンケートにある、「外で経験してから、戻ってきたい」という人への経済的・生活基盤的支援策は。

町長

子育てに対する思いが強いという地域環境や、生徒さんたちの桜まつりへの自主的な協力などおもてなしのボランティア活動を町が認めること

で、地域への愛着が増し、生徒さんたちが、自分の将来を考えたとき、選択肢として「故郷に帰る」思いにつながる事が大事と考える。施策については、現在も用意してあるが、予算も含め、今後町づくり施策として進めていきたい。

町長

いくつかの事業や支援策があるが、その成果は表れにくい。子育て支援計画のもとニーズ調査を行い施策の検討を進めていく。他「役場の障害者法定雇用率達成に向け、努力進行中について」1件

町政を問う

一般質問



河津小学校スクールバス



わた なべ ひろし 議員
渡 邊 弘

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問

3年間で1億3500万円、目指す河津バガテル公園は

答え 文化の香る公園として再生を目指す

質問 3年間で1億3500万円、これだけの費用を使い目指す公園の姿はどんな施設か。

町長 文化の香る公園として再生を目指す。指定管理者の営業努力により誘客をはかり運営の健全化を図りたい。

質問 指定管理先が(株)共立メンテナンスから(株)共

立メンテナンスから(株)共

立メンテナンスから(株)共

質問

小学校の移転問題は

答え 来年度から基本的な検討作業に入る

質問 スクールバスの運行準備状況は。

教育委員会事務局長 29

人乗りマイクロバス3台、14人乗りマイクロバス1

台を購入済み。運行業務委託を(株)伊豆バスと締結

した。利用児童にはバスの乗り方教室を実施した。

質問 9年間を見通した教育とは。先生たちの動

立ソリューションズに変

更はなぜか。

企画調整課長 (株)共立メ

ンテナンスが自治体向け業務受託事業を(株)共立ソ

リューションズに会社分割事業継承することが決定したため。今定例会で

変更議案を提出させていただいた。

質問 シャトルバスはど

シャトルバスはど

向は変わるのか。

教育長 小中一貫教育は

9年間を見通した教育で、教育内容がきちんと体系

づけられている特質がある。一体型、近接型なのか今後研究を深めたい。

中学校の教科担任制も取り入れて学力の向上に努めることも考えられる。

質問 小学校移転問題は

児童数が減少する中でどの様に考えているのか。

町長 文教施設建設整備

検討業務委託を予算計上した。児童数の問題、用地の問題、概算費用など

検討作業に入る予定。

他「デジタル化の推進」、

「防犯カメラ設置補助事業」2件

町政を問う

一般質問



まさ き せい じ 議員
正木 誠 司

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



開業から30年「踊り子温泉会館」

質問 役場からの情報周知ツールについて

答え 防災無線のデジタル化を行い他の方法も検討する

質問 防災行政無線のデジタル化更新事業の期間はどのくらいか。

町長 令和7年までの3年間の予定。

質問 工事により同報無線が停止する期間はどのくらいか。

防災課長 工事期間中は既存のアナログ波とデジタル波を併用して運用し

質問 タクシーの減少やバス路線の縮小のままでアフターコロナの観光客誘客となるが、町としての対策は。

町長 Eバイクの活用を図り(株)メリダと包括連携協定を結んだ。また、周遊的なシャトルバス運行により交通の不便を解消していく。

質問 コロナ禍後の観光施策について

答え Eバイク等、民間の活力も借りながら取り組む

質問 建設から30年が経過した踊り子温泉会館のリニューアルを町として考えているか。

町長 様々な課題があるため副町長を中心に関係各課で取り組んでいる。

副町長 温泉会館は一部が借地であり令和7年3月が借用期限となっている。貯湯槽や配管の老朽

質問 音響調査を行い確認する。

質問 静岡県の自治体でLINEを採用していないのは4市町で、河津町も採用していないが今後の採用予定はあるか。

防災課長 防災情報単独では考えていないが、町としての採用については企画調整課で検討中と聞いている。

常任委員会活動

第1常任委員会

12月9日

常任委員会開催

- ・公共交通に関する町の取り組みについて

1月30日

常任委員会開催

- ・今後の調査スケジュールについて

2月16日

国民健康保険運営協議会

常任委員会開催

- ・民生児童委員との意見交換会について

3月6日

河津町共同募金委員会

(委員長)

令和4年度第4回河津町社会福祉協議会理事會

(委員長)

3月15日

常任委員会開催

- ・民生児童委員との意見交換会について

第2常任委員会

1月19日

観光活性化施策の取り組みについて、伊東市観光経済部及び、美しい伊豆創造センターへ視察研修を実施。

- ・視察研修内容

伊東市観光経済部では、伊東地域ブランド「いと

うのいいもの」を運営している伊東商工会議所職員から、ブランド創設から現在までの取り組みについて説明を受け、地域

ブランドの利点や苦労した点、注意点について学んだ。その後、伊東市内のアンテナショップを見学し、実際の店頭に並んでいる商品を確認し、店舗責任者からお客さまの反応や購買客層等について説明を受けた。

・美しい伊豆創造センター（美伊豆）では、美伊豆の業務及び取り組みの観光戦略について学んだ。

来年度から、コロナ禍後を見据えたインバウンド戦略の第一弾として、台湾に的を絞った誘客を展開するとの話を受けた。

2月3日

委員会を開催し、視察研修の報告書を取りまとめ、議長に報告した。

3月16日

委員会を開催し、5月開催予定の意見交換会について協議した。

2月18日役場第1会議室において、初の試みとして中央大学生との意見交換会を広報常任委員会主催で行った。

大学生の活動紹介の後『移住や観光地に求めるもの』や『外から見た河津町や「河津」の印象など』をテーマとした意見交換会を行った。

広報常任委員会

交換会を行った。

広報常任委員として情報発信力の強化を目標に、SNSを使い議会活動の発信、議会だよりの議会1か月後の発行に着手し、町民の皆さんにホットな情報を届けるよう確認した。

議会のうごき



議長 遠藤 嘉規

12月

・「年末の交通安全県民運動」街頭広報が行われ、議員とともに出席。

1月

・河津町新春産業経済懇話会「新年賀詞交換会」が開催され、議員とともに出席。

2月

・第33回河津桜まつりオープニングセレモニーが開催され、議員とともに出席。

・令和4年度第2回静岡県地方議会議長連絡協議会政策研修会が開催され、副議長とともに出席。

その他

議会活動は議会WEBサイトで見ることが可能です。

●議長に要請のあった諸会合等

●議会議長会の事業

1月

・賀茂郡町議会議長会臨時総会及び議会議長会議

(西伊豆町)

・静岡県町村議会議長会総会及び議長会議



河津町議会改革特別委員会の設置

前期に引き続き、議員発議により上記特別委員会を設置。全議員により構成され、渡邊弘委員長、宮崎啓次副委員長が選出された。今後議会改革について審議される。

議 会 改 革



渡 邊 弘 委員長



宮 崎 啓 次 副委員長

「議員定数等調査特別委員会」において議論を重ね議員定数を1人減の10人とした。議員定数等調査特別委員会終了後、議会運営について改革の必要性の議論の中「議会改革調査特別委員会」が立ち上がった。町民の皆様に議会の活動を説明したり、議会内のデジタル化の推進、議会だよりの改革、常任委員会の改革、議員報酬の問題、議員のなり手不足、など議論がされ取り組まれてきた。

今までの取り組みを継承し、町民の皆様と議会の距離を縮めるとともに町政のチェック機能をしつかり果たす議会改革を進めて参りたい。

今、議員のなり手不足を危惧している。30〜40代の若手、あるいは女性、多種多様な意見が議会には必要だと考えている。その問題点を協議、改善できることがあるか検討していきたい。

また、町長と議会は二元代表制である。執行者に対し、監視と評価をし、政策提言するのが議会、常になれ合い議会とならないよう、一般質問でも対峙して、町民の意思を町政に的確に反映させることを目指し、議員として再確認も含め協議していききたい。その結果、もし賛同があれば、時間がかかって「議会基本条例」の制定ができれば良いと考える。

正木誠司委員

議会の意見がどのように町政に反映され、町民の皆さんのためになったのかを見える化していきたい。

渡邊昌昭委員

町民の声に耳を傾け、わかりやすい議会を目指し、効率よく積極的に一歩一歩進めていきたい。

北島正男委員

町の声をもっと聴く場を作り、役場職員とのディスカッションによる施策提案型の会議体を増やしていきたい。

遠藤嘉規委員

女性や若者の議員の成り手が居ない。議会の大問題です。問題解決に向け改革を行い、町民に身近な議会へ。

大川良樹委員

「議会改革」の旗印の基「議員定数削減を始まりに町民の皆様と議会を身近に感じるよう進めていきたい。

上村和正委員

地方分権の中、町民に信頼される議会の再構築、議員間討議の場として、新たな取り組みにチャレンジしたい。

桑原猛委員

議会自身の足元を固め頼りになる議会を目指すため、多方面からの議会改革に挑んでいきたい。

稲葉静委員

町の将来を考え、早急に若い世代が手を上げやすい環境を整備し、議員報酬等を引き上げる取組を。

議会だより第97号

読者アンケート

締め切り
5月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

●送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q 1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q 2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> P. 2～3 町のしごとピックアップ | <input type="checkbox"/> P. 4～P. 5 予算審査特別委員会 |
| <input type="checkbox"/> P. 6 定例会・臨時会 | <input type="checkbox"/> P. 7～P. 13 一般質問 |
| <input type="checkbox"/> P. 14 常任委員会の活動・議会のうごき | <input type="checkbox"/> P. 15 議会改革特別委員会 |
| <input type="checkbox"/> P. 17 一部事務組合 | <input type="checkbox"/> P. 18 私の一言・編集後記 |

Q 3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q 4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前(任意)	
ご住所(任意)	
連絡先(任意)	

無記名でも構いません。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することとはございません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

一部事務組合

東河環境センター

2月21日に令和5年2月定例会が開催され、専決処分1件、議案2件が提出され、原案通り可決承認された。

令和4年度 東河環境センター議会議員研修

令和5年1月16日～17日、1泊2日で神奈川県鎌倉市、大磯町で議員研修を行った。

研修の目的として、令和4年度からごみ処理有料化を実施し、「ごみの減量化とリサイクル推進」を進めていくなかで、先進地である両市町で研修を行った。

鎌倉市役所

『ゼロ・ウェイストからまくら』の実現を目指して、モノを大切に、心豊かな生活を掲げ、6つの基本方針のもと推進し

ている。背景には、ごみ処理施設整備の難しさ、社会情勢の変化（循環型社会形成の推進）等があり、ごみの減量化とリサイクルを進めることが重要となった。平成2年から30年間でごみ排出量は2万トン減少し、焼却量は4万4千トン削減された。リサイクル率も令和2年度52・7%と人口

10万人以上の市では、3年連続全国1位、観光地でもある鎌倉市の取り組みと意見交換を行った。



鎌倉市との意見交換

大磯町美化センター

大磯町にはごみの焼却施設がなく、平塚市・二

宮町と広域でごみ処理を行い、平塚市にある焼却施設で可燃ごみの焼却を行っている。

大磯町美化センターは、焼却ごみの中継施設、また資源不燃ごみの選別、一時貯留、選別保管施設で、将来的な広域化に向けて認識を深めた。



大磯町美化センター

下田メディカルセンター（SMC）

2月13日に令和5年2月定例会を開催した。条例の制定、令和4年度補正予算、令和5年度予算の審議を行い可決承認さ

れた。令和5年度予算の大きな支出は医療機械の入替が主となる。また指定管理者から、超高齢化社会の入院需要に対応し、幅広い疾患の患者を引き受ける病棟の編成について説明があった。

3月22日3月臨時会が開催され、旧共立湊病院解体工事に伴い、各市町の負担割合・額、補正予算の審議を行い、可決承認した。工事は令和6年中に完成予定。



解体が決まった、旧共立湊病院

伊豆斎場組合

2月20日に、令和5年2月定例会を開催した。

行政報告として、令和4年4月から令和5年1月までの火葬件数は836件。前年同期比1000件増。（河津町113件。前年同期比17件増）

斎場の長寿命命化改修工事は、非常用発電設備設置工事が令和5年1月完了。外構の伐採工事と駐車場舗装工事については令和4年度中の完了予定。改選に伴う副議長選挙を実施。南伊豆町選出の横嶋議員が副議長に選出。議案7件、発議2件について審議し可決承認された。

下田地区消防組合

2月15日に、令和5年2月定例会を開催した。事業報告のあと、専決処分1件・監査委員の選任・条例の制定7件・令和4年度補正予算（第3号）・令和5年度予算が審議され可決承認された。

～私の一言～



鈴木幸絵

BDA代表

「できっこないを
やらなくちや」

3月20日、私の母校でもある東小学校の閉校式が行われました。小学校の閉校に伴い、東小・西小の体育館が使えなくなるのを、みなさんをご存じでしたか？私が代表を務めるダンスチームBDAは体育館を使うことは滅多にないのですが、今まで定期的に利用している団体の方々から希望の時間に体育館を予約できず困っているという話を聞きました。

廃校した小学校を不特定多数の人が使う場合は、県の条例や建築基準法などいろんな制約があるようですが、健康促進を掲げている河津町だからこそ、町民の皆さんが身体を動かせる場所がひとつでも残ることを期待しています。



鈴木幸絵さんが代表を務めるダンスチームBDA



後藤幹樹

河津町シルバー人材センター
事務局長

「高齢化が進む社会の
地域力」

河津町の人口減少は益々進み、高齢化率も42%超と上昇し、その一方で高齢者人口は平成30年度をピークに減少しているという厳しい現実があります。そしてこの数年のコロナ禍での社会活動の停滞も重なり、私たちの町の力、地域の力が否応にも落ち込んでいます。

私の住む大堰地区も、高齢化率が50%に達しようとしている状況は限界集落寸前で、自治会活動も人不足でこれまでできたことも容易にできなくなっており、課題は多くあります。このため、地域の若い人たちとともに各自ができる役割を担って地域力の維持を図ることが大切と考えています。

町議会の皆様には、今この多様性社会において、地域と町からの両方の視点をもって、若い人たちが活躍し、高齢者も活き活きした誇りある町づくりを推進していただきたいと切に願っています。



執務中の後藤幹樹さん

編集後記

お詫びと訂正

第96号議会だよりにおいて誤表記がありました。大変申し訳ございません。

内容

P4入札結果一覧の契約金額の欄で下一桁が落丁している部分がありました。

P5議会広報常任委員会の構成議員名に上村和正議員の名前を誤って掲載しておりました。構成議員は上村議員を除いた5名です。確かな情報の掲載に心がけ編集していきまので今後ともよろしくお願いたします。

広報常任委員会

委員長 桑原 猛

副委員長 北島 正男

委員 正木 誠司

委員 大川 良樹

委員 渡邊 昌昭